風来坊 Country Walk　2018 掲載記事 目次

水行末 雲来末 風来末　和鉄の道　風来坊

Iron Road　縄文　ふらっと訪れた山・里・街角　そして歴史を訪ねて
日本各地には　自然・人・地域・歴史の痕跡とともに
地域それぞれ・四季折々　素晴らしい日本の原風景が残り、
訪れると　いつも新しい発見があり、　自分だけの景色で迎えてくれる
Country Walk の楽しみです

日本に「鉄」が伝来して、この「たたら製鉄」が行われるまで、約800 年の長きにわたってたたら製鉄法の摸索が続き、その技術をさらに磨き高めながら1500年続いてきた日本独自の製鉄技術。
「鉄は国家なり」「鉄は産業の米」と「鉄」の力が強調される一方で、文化を育み、そこに住む人たちの生活を豊かにし、現在に至る日本を作ってきた。
人里離れた里山の谷筋や川筋・海岸などなどに、産業生産・工房・街・街道などの痕跡とともに、それに携わった人々の賑わいや数々のドラマとともに日本の原風景といわれるすばらしい景色が今も残っています。

そんなIron Road歩きを中心に好奇心いっぱい。足の向くまま気の向くまま 日本各地に残る素晴らしい四季折々の風景を求めてCountry Walk10数年。
最近は年とともに遠くへ行かれなくなりましたが、
まだまだ元気　好奇心も一杯。
すばらしい景色とともに数々の出会いの楽しみも。
日本各地のCountry Walkを楽しんでいます。

風来坊　Country walk　　Mutsu Nakanishi from Kobe

2018 風来坊　Country Walk　もくじ

山歩き・里歩き・街歩き 2018　11 件記載

風来坊 Country walk【17】山歩き・里歩き・街歩き 2018

1. 新春の須磨　西六甲縦走路　鉄拐山・旗振り山　初歩き　2018.1.4.. 18walk01.pdf

六甲の山並み・大阪湾の大展望を楽しみ、久しぶりに一の谷を降りて、須磨浦海岸へ

【1.須磨高倉台から西六甲全山縦走路鉄拐山へ】⇒【2.鉄拐山西六甲から神戸～紀淡海峡の大阪湾大展望】⇒
【3.六甲連山が明石海峡に落ちる西端旗振り山】⇒【4.旗振り山から須磨浦へ 源平の歴史 一の谷を下る】⇒
【5.春の海　須磨浦と須磨海岸】⇒【6.須磨の海岸から須磨の街並みを抜けて、夕闇迫る山裾の須磨寺へ】

2　早春 walk from Kobe Suma　神戸の春はすぐそこに　2018.2 月　18walk02.pdf

梅の花が満開となり、　神戸の春を告げるいかなご漁も始まり
3月1日　深夜　春一番が吹き荒れ、待ち兼ねた春はもうすぐそこに
神戸の春の到来です
早春の気持ちを明るくしてくれる春の花　早く咲きだしてほしいと春を探しての須磨界隈早春 walk です

◎2018.2.7.	自宅東側の鵯越尾根筋の裏に隠れている獅子が池に鴨が来て遊んでいました
◎2018.2.14.	昨年はパスした還付申告。県税事務所からの住民税申告の申告書。 還付はほとんどなし、同じ事ならやり方が解っている還付申告で。 申告を済ませ、網敷天満宮へ　でも　まだ梅の蕾は固い。
◎2018.2.17.	やっと暖かくなり初めた午後 澄み渡る青空に　高取山に登って　大阪湾・神戸の街遠望に
◎2018.2.18.	神戸の南京町の春節祭久しぶりに街へ　街は大勢の人で大賑わい。
◎2018.2.21.	急に暖かくなって各地の梅便りのニュース でも離岡山梅林ではまだ一輪も咲いておらず。でも久しぶりの里が心地よい
◎2018.2.24.	暖かい日が続き、ふと思い出した琵琶湖早咲きの菜の花畑 一面を黄色にする早咲きの菜の花畑に元気をもらいに……
◎ 2018.2.26.	急に暖かい日が続くこの1週間 須磨walkの道すがらの須磨離宮公園梅満開の案内 半信半疑で離宮公園の梅林へ　紅白の梅が今を盛りと満開に。 また、今日　いかなご漁が解禁に…… 平年並みとはいきませんが、うれしい神戸の春到来。
◎2018. 2. 27.	神戸に春が来た。　そんな目でうきうき顔で街を歩く あちこち　街角で咲き始めた梅の花。うれしい春到来

3. 春の嵐が吹き荒れた翌日の“物好き Walk”　2018 3. 21.　18walk03.pdf

≪澄み渡る大阪湾の大展望と椿の道≫　妙法寺から須磨アルプス東端の東山を超えて、南の板宿へ歩く

4. 古代たたらの郷　西播磨「佐用」の春　2018　2018. 3. 31　18walk04.pdf.

春の妖精「カタクリの花」と佐用の一本桜　漆野の「大糸桜」を今年も訪ねました

5　神戸　2018 年 過ぎ行く春の Photo Album　2018.5.3.　18walk05.pdf

新緑の神戸の街で　風来坊 毎日 Good Day Now!! と
桜が散ると野山も街も一斉に新緑に衣替え 春が猛スピードで駆けてゆく

1. 4.10　久しぶりに神戸の街にでて、諏訪山レインボーブリッジに登る
　若者のデートスポットですが、久しぶりに神戸の街が眼下に広がる
2. 4.14.　穏やかな春の午後　鉄拐山より大阪湾が一望　穏やかな須磨浦の海に潮目がくっきり見える
　須磨の春　春の海ひねもす　のたりのたりかな

3. 4.20. 新緑に包まれた姫路城　新緑の中を舞う白鷺のごとし　緑のトンネルの中を歩く
鉄鋼マンとしての出発をした若者たちの一群が写真を撮っているのであう。
わたしにも昔こんな時代があったと懐かしく　若者たちにエールを送る
4. 4.23　自覚の角先も真っ赤なポピーが咲いて　華やかに　いつもの春の角先に
5. 4.27.　シャクナゲ2018 盛りが過ぎたかと心配しながら、森林植物園 石楠花谷へ
今年も新緑の谷を埋め尽くす日本シャクナゲ　新緑の中に咲くハンカチの木や
ドウダンツツジにも出会えました。
谷の上部のホソバシャクナゲはいつもはこれからという時期ですが、ちょうど盛り
ドウダンツツジは「灯台躑躅」と書く。これは山口の「特牛・コットイ」級の難読や
6. 4.27. 東播磨吉川の黒滝三木市吉川町の美嚢川幅一杯　幅30m、落差4mの滝　）
東播磨の田園が広がる「山田の里吉川」の街の中に落差は小さいが川幅一杯に流れ落ちる
こんな美しい滝「黒滝」がある。水辺が恋しくなってきた矢先、初めてたずねました
7. 5. 1. さわやかな五月の風に横尾道　のじぎくの丘の大空を泳ぐこいのぼり
8. 5. 3. ５月の連休はいつものごとく家で休養
待ちかねたアグロステンマの花が咲いて　５月の角先・庭に掉尾を飾るバラの香りが漂う
薫風５月　Good Day　今日も元気に　孫たちも帰ってのんびりと

6　何万年も前の空気の泡を一杯閉じ込めて真っ白な南極氷　.2018.5.12..　18walk06.pdf
第５８次南極観測隊　岡田雅樹博士からの贈り物　南極の氷山から切り出した南極氷がわが家に届きました

7　梅雨の晴れ間に東六甲を歩く【1】　2018.6.14.　18walk07.pdf
六甲山上　高山植物園　より六甲最高峰を経て　久しぶりに住吉谷を下る　.

1. 初夏の高山植物やニッコウキスゲの咲く六甲高山植物園
2. 六甲山上の縦走路を東へ山上散策　六甲山最高峰へ
3. 有馬と表六甲を結ぶ六甲越の古道「魚屋道・住吉道」を住吉谷を下る

■ 六甲の川物語「住吉川物語」 国土交通省　六甲砂防事務所
https://www.kkr.mlit.go.jp/rokko/rokko/study/sumiyoshi/sum-b.pdf

8　梅雨の晴れ間に東六甲を歩く【2】　2018.6.22.　18walk08.pdf
表六甲東灘　阪急岡本から尾根筋を　保久良神社・風吹岩・雨ケ峠を経て東おたふく山へ

9. 西神戸・東播磨 うれしい秋の訪れ　2018 小さい秋　みぃ～つけた !!　18walk09.pdf

1. 初秋　西神戸
みのりの田園地帯を彩る彼岸花　白川&伊川谷の里で
2. 初秋　東播磨
加古川市志方広尾集落から福甸峠を超えて小野市きすみのを訪ねる
コスモスの里志方広尾&福甸峠から見るきすみの棚田・きすみののそば畑
3. 東播磨 酒米の郷に秋を告げる風物詩
加東町から三木市吉川 酒米の田の畦にはためく酒蔵の旗
東町木梨の郷ほかで

10. 2018 西神戸・須磨界隈　10月 深まり行く秋点描　2018.11.3.　18walk10.pdf
小さな秋 みぃ～つけたぁ気ままな須磨・東播磨の walk

■ 高塚山から眺める播磨灘・明石海峡・大阪湾沿岸全景
沿岸を東へ連なる六甲連山　全山縦走路の山々の展望
■ 2018秋　コスモス　from Kobe　西播磨のコスモスの里 志方を駆ける
■ 秋の日暮れはつるべ落とし　横尾道で茜色に染まる日暮れを楽しむ
■ 秋のバラ2018　須磨離宮公園で　ほか

11　京都八瀬の真っ赤に染まった紅葉のトンネル　2018.11.29.　18walk11.pdf

風来坊-Country walk 2018

水行末 雲来末 風来末　山歩き-里歩き-街歩き

まえがき & 掲載トピックス

本年も私の住む神戸を中心とした近郊の里を季節折々訪ねる相も変らぬ花便り・近郊ハイクの楽しみに、
一日 8000 歩健康 walk も相変わらず続けることができ、その過程で見つけた神戸須磨界隈の四季の景色も
　冬　蝋梅・水仙・椿に始まり　春 梅・カタクリと芽吹きの樹々に始まり、新緑・菜の花・桜　そして石楠花・バラへ
　夏はクリンソウ・アジサイ・ひまわり そして　秋は黄金色に輝く播磨の田園とヒガンバナ
　そして、コスモス・県花ノジギク満開の散歩道から紅葉等々。毎日の walk が楽しみ。
　また　日に日に成長する孫たちと一緒に遊ぶこともおおくなり、孫の Photo も・・・・
毎年同じような情景の記録ばかりですが、季節の移り変わりの定点観測と健康で動けることに感謝しつつ、好奇心いっぱいの季節の移り変わりを知る楽しい機会に。
でも　今年は地球温暖化に伴う急激な気候変動とさらには地球が活動期に入り　自然災害の多発とともにその猛威の巨大化で思い描いていた季節感が大幅にずれるばかりでなく、里山や車窓に見る街の景色にも、災害猛威の跡が今も残り、季節の walk を楽しむとのんきなことを言っている場合ではないとも。
想定外が常態化する今、老齢を迎える我々には厳しい時代
みんなに助けてもらいながらも「予知感度を挙げて　陣の実は自分で守る」と強がりの日々。
そんな日々　四季折々神戸で暮らす身近でとらえた 1 年を通してのデジカメ写真の歳時記。
ちよっとでも　日々の暮らしに響いていただくことがあれば……と。
日常記録の中で、わたしにとっての 2018 年の風来坊・Country walk 11 件の中からのトピックス Photo

◎　**春夏秋冬　1 年を通じて歩く横尾道・西六甲縦走路　毎日 walk**
　一年を通じて、鉄拐山から旗振り山・須磨アルプス・高取山そして北のしあわせの村・鵯越等々思いつくまま気の向くままコースを変えて歩きました。今年は猛威を振るった台風や大雨の爪痕が残りました。
　　また　PM25 の影響化年々見通し悪く　目安にしている大阪湾越し二上山のこぶが見えたのは数度。

◎　**今年の秋の絶景　播磨灘に沈む夕日**
　夕方　横尾道を歩くといつも日没・夕日にデジカメを向けるのですが、ダメ。やっと今年美しい夕日に成功

◎　**春の妖精「カタクリの花」と佐用の一本桜　漆野の「大糸桜」を今年も訪ねました**

◎　**梅雨の晴れ間に東六甲を歩く**
　いつも遠く眺める東六甲の山・谷　　かつてよく歩いた東六甲ですが、最近ほとんど歩いたことなし。
　ふと思い立って歩きました。　緑の草原　東おたふく山は西六甲では見られぬ景色　本当に新鮮でした

◎　**京都八瀬の真っ赤に染まった紅葉のトンネル**
　今年は暖冬の影響か　真っ赤な紅葉が見られず、寂しく思っていましたが、京都洛北　比叡山山麓八瀬でおもいもかれず、真っ赤に色ずく紅葉のトンネルに。京都市街地からすぐの八瀬の紅葉の美しさにびっくり。

ほかにも色々。私にとっては 1 年 1 年のうれしい四季折々歩いた Photo&映像スライドの記録。
いつも BGM には苦労していますが、BGM をつけて　ゆったりと眺めては楽しんでいます。